

はなはな

教育長 千葉良一書

Vol. 2

八峰町関東ふるさと会 会報

2011年10月発行



「津波の驚異」

八峰町関東ふるさと会会長

神馬 信一



会員の皆様には益々ご健勝で活躍のこととお慶び申し上げます。平素は当会に對しまして格段のご厚誼を賜り心より御礼申し上げます。

本年3月11日に発生しました東日本大震災により未曾有の大災害が起こりました。残念にもお亡くなりになりました方々に心よりお悔やみ申し上げますと共に、被害に遭われました皆様にはお見舞い申し上げます。被災されました方々のふるさとが元の平和な生活に一刻も早く戻られますようお願いしております。

今回の大地震による津波の大きさはテレビや新聞の報道を目前にして、ただただ自然の驚異に啞然としてしまいました。昭和58年5月26日正午に日本海中部地震が発生したことを思い出し資料を見つ

けました。ふるさと峰浜にも14メートルの津波が村を襲って、国道101号線には亀裂が入ったり、海岸にあった車が100メートルも陸地に流されている写真でした。また八森町では子供を含む大勢の方々が被災され甚大な被害を受けた資料でした。

今回の地震と日本海中部地震の被害の大きさを報道で比べることは簡単ですが、被災された方々の心の傷は被害の大きさに関係なく一生忘れられないことになり

私の会社の業種は海や岸壁が仕事場です。日本海中部地震の時は社員が数名、能代港の防波堤工事中でした。昼食のため防波堤上にいる時の地震で作業船船長の判断により、作業員を全員船に乗せて沖に向かって避難したため社員は無事でした。

しかし、今回の東日本大震災では三種町浜田にある秋田事業所より、宮城県山元町の沿岸部の工事現場に出張中の2名の社員（八森字磯村と能代市景林町）が、地震発生直後2名とも家族に携帯電話のメールで津波が来るから逃げると連絡した後、あのような大津波で罹災してしまいました。残念でなりません。ご家族は勿論のこと会社の仲間として働き盛りを失って今は、失望の真つ只中です。

さて、当ふるさと会は発足して2年を経過しようとしています。今年は成田幹事長に会員名簿を見直してもらい1160名の名簿を作成することができました。他に目立った行事の企画はできませんが、秋田県出身者で首都圏に住んでいる方々で組織している首都圏秋田県人会連合会があります。この会にはふるさとを想い情報交換や親睦を深めるため36団体が加盟しており、当ふるさと会も仲間入りしています。

この会の主な行事として、毎年10月下

句頃（今年は10月22日、会場は豊島公会堂）で芸能大会が催されます。民謡、歌謡曲、コーラス、舞踊、その他芸達者の方々が賑わいます。また昨年は文化部の催しとして、女優の浅利香津代さんの講演に163名の出席者で賑わいました。会員の皆さんにはこのような催しを年一回会報「はたはた」でご案内するだけでなく、芸能大会に出演を希望される方や催し物に関心のある方は事務局またはお知り合いの役員にご連絡下さい。

年に一度の総会・懇親会は多数の皆さんの参加によって、より盛り上がりがあります。今回は抽選会を企画しました。大勢の方々が会場が一杯になることを期待しています。最後に会員の皆さんおよび八峰町民の皆さんのご健康・ご多幸と八峰町の益々の発展を心から祈念申し上げます。

（9月10日記）



津波でビルの屋上に車がのっています（宮城県女川町）

震災と「ふるさと」

八峰町長 加藤 和夫



関東ふるさと会の皆さん、お元気でし
ようか。
三月十一日。この日は、日本にとって
忘れられない、また忘れてはならない日
となりました。

千年に一度と言われる東日本大震災は、
マグニチュード九・〇、広範囲な地震域
そして大津波。どれをとっても最大級で
その被害の凄まじさは言語を絶するもの
でした。それに加えた原発事故は放射能
の恐ろしさをまざまざと見せ付けられま
した。

八峰町は昭和五十八年日本海中部地震
を体験していますが、岩手県宮古市から
宮城県名取市までこの目に見た海岸域の
被害は、比較にならない壊滅的な状況で
ありました。あらためて犠牲者のご冥福
と被災者にお見舞いを申し上げますと共に
復旧・復興を皆さんとともに祈りし
たいと思います。

あの震災直後は、皆さんの住む関東圏
でも帰宅難民が発生する等の影響があり
ましたが、わが町は最高一日半にわたり
停電となり、電話が通じない、水道が止
まる、ストーブで暖をとれない、炊飯が
できない等、電気に依存している日常生
活に大きな影響が出ました。

多分、ふるさと会が開催される頃は八
カ月経過し、徐々ではあります岩手・

宮城・福島とも復旧が進んでいるものと
思いますが、同じ国民として、特に東北
の仲間として、温かい心で一緒に支えて
まいりましょう。

私はこの度、被災地を目のあたりにし
て、もしこれがわが町ならばと自問自答
しながら震撼しました。

この地に生まれ、この地に育ち、この
地で生きて行こうとする人々が、自分の
意思に反して、泣き泣き愛する「ふるさ
と」を後にしなければならぬ人がいた
ということ。

又、皆さんのように、ぎっしり思い出
の詰まった「ふるさと」が無残な姿とな
り、実家や肉親や友人を失い、記憶にあ
る情景と現実が一変したこと等を考えた
時、何からどのようにして、住民の望む
「ふるさと」を再生していくか、その責

「オール八峰」を目指して！

八峰町副町長 伊藤 進



務の重さは計り知れないものがあると痛
感いたしました。
日本は戦後、焼け野原から見事に復興
を果たし、今日の繁栄を築いてきた実績
があります。

今回の被災地も、必ずやこのどん底か
ら手を尽くして再興してくれるものと信
じて止みません。そしてまた、被災地を
「ふるさと」とする人々は、決して「ふ
るさと」を忘れることは無いでしょう。

八峰町は六年目の秋を迎えました。
皆さんが愛する「ふるさと」八峰町を
しっかりと守り、発展させなければと大震
災を教訓にあらためて決意した次第であ
ります。

結びに、関東ふるさと会員皆様の「ふ
るさと」八峰町への変わらぬご支援をお
願いするとともに、ご健勝で活躍され
ますことをご祈念申し上げます。

昨年9月17日に副町長に就任し、最初
の大仕事は11月21日に開催された「関東
ふるさと会」への出席でした。ふるさと

会には旧峰浜村の職員時代に村の特産品
の売り子として一度だけ参加した記憶が
ありますが、主会場外での販売であり、

蒸し暑く汗だく奮闘した記憶しかありません。本格的な参加は今回が初めてであり、それだけに戸惑いと緊張の連続でしたが、会員の皆様方の心温まるご配慮により、楽しく記憶に残る「ふるさと会」を体験させて頂きました。この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

さて、早いもので八峰町になって6年目を迎えました。旧峰浜村・旧八森町という町民感情は少しずつ取り払われつつありますし、この度の「町民憲章の制定」を機に、更なる八峰町民としての一体感を醸成していくのが私の役目だと思っております。貴会に於かれましても合併して2年目を迎えますが、会員の皆様方の更なる融合が図られることを衷心よりご祈念申し上げます。

ふるさと会で再会を喜び、ふるさとに想いを馳しながらお互いに近況報告を行い、談笑している会員の皆様方は本当に輝いて見えました。その結集された大きなパワーを「ふるさと八峰町」発展のために分け与えて頂ければ幸いです。

ところで、農林水産業を基幹産業とする当町も例外なく少子高齢化が急速に進行しております。特に出生者数は町全体で年間40人前後と少人数で推移しており、将来的には後継者不足等、活力ある町づくりをする上では大きな懸念事項であります。世界自然遺産「白神山地」の恩恵を享受し、そこから生産される良質な農林水産物は、わが町の宝であり財産であります。農林水産業の振興こそが町の総合振興計画に掲げる「白神の自然と人と創るやすらぎのまちづくり」の原点であり、町議会と力を合わせてその振興に

努めて参ります。

しかしながら、幾ら良質な農林水産物を生産しても売れなければ町の活性化には繋がりません。そこで、ふるさと会の会員の皆様には、アンテナショップ的な役割を担って頂ければうれしく思います。町では現在、都市部の大型店の物産展等に積極的に参加し、マーケティングを行っておりますが、それだけでは不十分です。是非協力をお願いします。

町長が掲げる八峰町民、ふるさと会員が一致団結した「オール八峰」の実現に向けてお互い力を合わせて頑張りましょう。

私見ではありますが、いつの日か町側が一方的に上京するのではなく、何回かに1回はふるさと会の皆さんが来町し、町の成長ぶりを確認できる双方向性のふるさと会との関係が構築できれば良いなあと思っております。

最後になりましたが、ふるさと会の益々のご隆盛と会員の皆様方のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。

ふるさとと共に

八峰町議会議長

須藤 正人



関東ふるさと会の皆様、お元気で過ごしてのことと思います。今年も総会で皆様との再会をこころ待ちにし、会報の発行を喜び、併せて総会の盛会をお祈り致しております。

関東ふるさと会の初代会長であった小林一郎さんは、ふるさとを思い、こんな句を詠んでいます。「峰浜は我ら生れし郷なれば 明日は大手を振りて帰らむ」。この詠の句碑は峰栄館そばにありますので帰郷の際には是非お立ち寄りください。「志を果たして いつの日にか帰らん 山はあおきふるさと 水は清きふるさと」。総会の懇親会で結びに皆さんで合唱する「ふるさと」はまさに小林さんの思いと同じように故郷に対する矜持の念が感じられます。

さて、3月11日東日本大震災がおこりました。未曾有の天災は多くの人の命を奪い、まちを破壊し、人々を悲しみのどん底につきおとしました。さらに、目にもえない放射能に逃げ惑う人々、戦後に匹敵する日本の危機と言われております。しかし、日本人の団結力は必ずこの窮地を乗り越えたと確信致します。はやい復興と原発の収束を祈らずにはいられませんが、「天災は忘れた頃にやってくる」と

言われるが、天災の最大の防御は天災を忘れないこと、防災の専門家がつぶやい



第2号会報の発刊に寄せて

八峰町議会副議長 芦崎 達美



ふるさと会の会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、昨年の第2回総会にはお招きをいただき、ありがとうございます。議長共々参加しまして、久しく皆様と懇談できましたことを昨日のように思い出し、皆さん、ふるさとをとっても大事にしてくれていたことを懐かしく思っているところです。

さて、八峰町をふるさととする方はどの位おられるのでしょうか。ご本人とご家族となるとおそらく想像できない位の方々が都会で生活しているのではないだろうか。

3月の東日本大震災では東北の太平洋側が未曾有の大被害を受け、原子力発電所の事故による放射能の影響では、今尚多くの方々が避難生活を続けております。関東の各地でも地震で大変であったでしょう。八峰町でも大きな揺れにびっくりしましたが、幸い、被害らしいものはなかったのですが、ふるさと会の皆さんには大変ご心配をお掛けしました。

町内での被害は、震災による長時間の停電により一部で断水が発生し、震災後10日間ほど物流が停滞したことから車の燃料に事欠いた程度でした。

私共八峰町からも被災地に向けてお金やお米などの支援や、職員の派遣なども

ふるさとから発信

八峰町教育長 千葉 良一



行っております。同じ東北の一員として『がんばろう日本・がんばろう東北』を合い言葉に、一日でも早い復興に協力していきたいと思っております。

放射能汚染の広まる中で、世界自然遺産白山山地の麓の町として、これからどうすべきか方向が見えたように思います。この豊かな自然をいつまでも守り、安全な魚や野菜・米などを生産し、清く美しい水を、次世代に受け継がなくてはならないと決意を新たにしました。

今、東北は風評被害で困っています。八峰町をふるさととする皆様にはそんな東北を支援してもらいたいし、東北への熱いエールをこれからもお願いいたします。そのためにも、安心安全な町の農水産物を是非たくさん購入し、食べてもらいたいものです。

最後に、この度の第2号会報の発行おめでとうございます。更にふるさと会の輪が広まることをご期待すると共に、第3回ふるさと会総会の盛会をご祈念申し上げます。

八峰町誕生してから6年目に入りました。「関東ふるさと会」の皆さんは遠くふるさとを離れて何年になりますか？

振り返ってみれば月日のたつのは早いですか？ 異郷にあってふるさとを恋しく思わない人はいないでしょうか？

駅で秋田の観光や夏祭りのポスターを見たり、新聞・テレビ・最近ではインターネットで八峰町の情報を見て感激し、思い出に浸りつつも、友達や家族に自慢できて嬉しかったとのお便りや直接観光やイベントへのご提案もいただきます。本当に感謝しております。

今、皆さんのふるさと八峰町においても少子高齢化・情報化・地方分権の推進など時代の潮流が押し寄せ、大きな変革の時期を迎えております。しかし、時代はどんなに変わろうとも八峰町の自然や文化、地域の素晴らしさは失いたくありません。私たちはこれまで以上に八峰町の良さをさらに磨きたい、町民はもとより、ふるさと会の皆さんにとっても、八峰町は元気、ふるさとには元気、と安心していただけるよう頑張っております。

最後に、子どもたちは勉強面・スポーツ面に絶好の環境を有するこの町で日々明るく、伸び伸びとたくましく育っております。八峰町教育委員会から今年度特に注目の事業を3つご紹介します。

1. 「日沼頼夫文庫」開設

本誌創刊号でご紹介されました当町出身の文化勲章受章者日沼頼夫博士から寄贈された蔵書や、博士の足跡を知るうえで貴重な新聞記事、週刊誌の対談記事なども併せて展示するため開設準備中です。

2. NTTが全国5自治体10の小・中学校を選んで実施される「教育ICT事業」(八森・水沢・埴川の3小学校の5年生対象)

子どもたち一人1台支給された小型パソコンには、デジタル化された国語・社会・理科の教科書が組み込まれ、学校や自宅でも教育関連専用のインターネット利用可能(未来教育の実証実験)

3. 秋田県で始めて実施する中学2年生対象の無料町営学習塾

(夏・冬休み合計20日間)
1年生から2年生の1学期までのフォローアップ専門で、講師は教師を目指す八峰町出身の秋田大学の学生など

※5頁下の写真をご参照下さい

第41回全国学生俳句大会 平成22年度NHK全国俳句大会

数ある俳句大会の中でも最も権威のある「全国学生俳句大会」と「NHK全国俳句大会」の結果が発表され、埴川・水沢両小学校の児童達が多数入選しました。埴川小学校は全国俳句大会の学校対抗部門の「俳句の甲子園」で20年ぶり2度目の優勝に輝きました。

また、NHK全国俳句大会でも全校で俳句に取り組んでいる学校に贈られる特別賞を受賞しました。

ここでは、受賞した作品を紹介します。

全国学生俳句大会 小学生の部 (応募総数 12万1,844句)

特選

シーカーヤツク虫の形でこいでいく
埴川小 五年 佐藤たかし

マイワシは何周してもまいご出ず

埴川小 五年 金平 優希
※特別賞・マル木賞も 受賞

父さんはマグロのようにもぐれます

埴川小 六年 嶋津 詠士

特別賞・日航財団賞

さようならのなみだをバツタためている

埴川小 二年 薩摩 千尋

入選

ぴあにかはふうふうとんぼふえるおと

埴川小 一年 武田 天智

こいのぼり天をお池にするつもり

埴川小 二年 佐々木未久

さよならのバンジージャンプほうせんか

埴川小 二年 高杉 渉

帰りつつからすは月をよび出すよ

埴川小 三年 平塚 結衣

しらかみの山のモリモリブロッコリー

水沢小 四年 成田 陽稀

佳作

みずおよぎさかなのきもちわかるまで

埴川小 一年 佐藤たくみ

わたしのかさひらいてとじるおはなだよ

水沢小 一年 斉藤 心

墓そうじまごのわたしの大しごと

埴川小 三年 三谷 佳代

深呼吸体中が秋の山

水沢小 五年 菊谷 匠真

学校対抗俳句の甲子園 優勝

※一校五句を一組として応募し、総得点で競います。

いもほりはながぐつはくとちからでる

埴川小 一年 佐藤たくみ

川の水ぼくをうつつしてさけのぼる

埴川小 二年 米森 伊吹

しまい湯は鼻歌わいて虫の秋

埴川小 四年 畠山 優衣

いねかりや金色絵の具へる季節

埴川小 五年 鷺見 真未

友送る夜汽車来るまで虫を聞き

埴川小 六年 後藤 大輝

NHK全国俳句大会 ジュニアの部

特選

ぎぜんしてもずの声だけきこえてる

埴川小 二年 白鳥 優斗

プール行き日やけてぼくらは木的一種

埴川小 五年 藤田 黎

秀作

たまいでそらがみずたまもようになる

埴川小 一年 武田 天智

入選

まなつびのあせのからだはあまもりだ

埴川小 一年 佐藤たくみ

はつけよいつのおすもうかぶとむし

水沢小 一年 大高 奨平

ふきのとう春をしらせるかいらんばん

埴川小 二年 米森 伊吹

すいか食べ本読む元気とりもどす

埴川小 二年 八田 佳子

せんたくものゆれる合図でせみが鳴く

埴川小 三年 清水里乃伽

かいだんをいっばい登り晴れる梅雨

埴川小 三年 平塚 結衣

はしったあと中でしんぞうはしりだす

水沢小 三年 佐藤 黎亜

すいかわりはじけたたねが流れ星

埴川小 五年 鷺見 真未

大根よ大きくなれとしこをふむ

水沢小 五年 日沼 謙公

むらさきのちようが導く日かげかな

埴川小 六年 八田 蒼平

はじめと話聞いているなめくじら

埴川小 六年 千葉 寛太

特別賞

埴川小学校



公民館で勉強する中学2年生！



机から本が消えた！ 小型パソコンで授業する5年生



開設間近い「日沼頼夫文庫」

美味しい水を未来の人々に贈るために

NPO法人白神ネイチャー協会会長 日沼 正清



青秋林道建設中止に伴って山を守る気運が一気に高まり、それが世界自然遺産に認定されて一連の活動がひと段落したのは1992年でした。しかし道路工事は八森町（当時）を流れる真瀬川添いに青森県との県境まで進んでおり、その時に出た残土は近くの谷間を埋め立てました。そしてヤマハンノキなどを植樹し土石を植物で覆いましたが、残念ながら樹木は良く育ちませんでした。

その後この場所にブナを植えようという試案がだされ、それを実行するための当協会の前身である白神ネイチャー協会が1997年に発足しました。翌年二百数十名の方々の参加のもと、この地で第1回植樹祭を実施しました。それ以来今年まで東京八森会の皆さん始めたたくさんの方々のご支援を頂き、植樹活動を続けてまいることができましたのも偏に皆様のご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

最近、日本の食糧自給率があまりにも低いことが話題になり、諸関係機関の努力がありました。わずかに2%程度の改善しか見られておりません。ある試算によりますと、日本の食糧自給率を100%にするためには決定的に陸水が不足しているとの報告されております。白神山地は約13万畝といわれていますが、その

山々は自然林で覆われていて、この森の中にはたつぷりと陸水が備蓄されております。

海外のニュースによると大きな湖沼や大河の一部が干上がったと耳にします。しかし白神山地を源流とする河川が干上がったという話はまだ聞いたことがありません。これは白神山地の森がしっかりと守られてきたからに外なりません。白神山地の水は今後日本の食糧自給率を上げるためにはどうしても必要な水です。

私どもの会ではこの理念に立って今後とも森作りにはげんでいきたいと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。なお、植樹祭は毎年10月第1日曜日に計画しておりますので、ご参加方重ねてお願い申し上げます。



「白神ネイチャー協会」の植樹祭風景



「海と川と空の塾」の植樹祭風景

八峰町峰浜

「豊かな水源の森」と

海と川と空の塾 ブナの苗木500本植える

八峰町の「海と川と空の塾」佐々木正樹代表は5日、同町峰浜石川の山林でブナの植樹祭を行った。県内外から約180人が参加し、豊かな水源の森に「願いを込めながら500本の苗木を土壌に植え付け、豊かな水を流した。

同団体は、山や海に恵まれた峰浜村長の故・田村 郎 さんの植樹を継ぎ、15回目の昨年からは植樹する人たちが大勢参加した。開会式で、

「元気に育ってね」と願いを込めながら植樹する参加者（八峰町で）



「元気に育ってね」と願いを込めながら植樹する参加者（八峰町で）

一行はバス4台分乗し、6年生のブナの苗木で進めなごちひり、植樹祭は、徒歩で自分の高着、前日までの雨でぬかぬか、元気な声、峰山の頂上まで登り、さだめ、植樹祭の移動、志を定めた。だまご、鍋が振る舞われ、しほは、植樹した。約180人が協力した。

北羽新報 2011年6月6日(月)に掲載

ふるさと宅急便

海と川と空の塾代表 佐々木 正憲(石川在住)

会報第2号の発刊にあたって過日、神馬会長、成田幹事長から原稿の依頼が舞い込んできた。どういう風の吹き回しで私に白羽の矢が立ったのかびっくりした。首都圏に住み、生活しておられるふる里出身の皆さん変わりありませんか。今年3月の東日本大震災、福島第一原発事故、加えて異常気象による猛暑、風水害など天候にも悩まされてきました。この大震災で犠牲になられた人々のご冥福を祈り、甚大な被害を被った地域の日も早い復興、復旧を願っております。

さて、ふる里八峰町が誕生して6年目を迎えております。世界自然遺産白神山地のふところに抱かれ、広がる日本海、肥沃な大地が拓けるまさに自然の標本を備えているかの八峰町です。基幹産業のひとつである農業、とりわけ稲の穂波も次第に秋を迎える準備に入っております。

私の生れ、住んでいる石川集落も農業を主とする農村の原風景が残る集落であります。この地域に遠い昔から信仰の山として崇められ、親しまれてきた「高峰山(367.8m)」があります。さほど高い山ではないが、地域のシンボルとして埴川小学校や旧埴川中学校の校歌にも歌われてきました。四季を通じて風情を醸し出してくれ、この地域の出身者にとっては思い出の多い山であります。



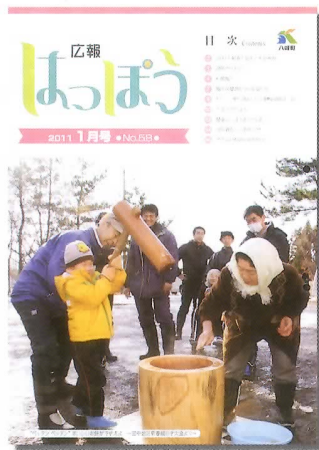
この山のふもとに昨年から森林ボランティアの手によってブナの植樹活動を展開しております。この森林ボランティア団体は平成7年に設立された「海と川と空の塾」であります。ブナの植樹は今年で16回、16年目となり、塾生は北は北海道から九州、四国まで約400名の大世帯です。

今年ふるさと会からも多くの参加を予定していましたが、未曾有の大震災で殆どがキャンセルとなり、6月5日の植樹会にはふるさと会から副会長の福田稔さんと伊東千やさんの2人が代表して参加してくれました。来年春の第17回植樹会は6月第2日曜日を予定しております。

山に木を植え、森をつくり、緑を育てて元気をとり戻し、さらに地球規模で自然や環境が問われているとき、少しでも小さくとも私どもの活動が地球に貢献できればとの思いを強くしている今日この頃です。ふるさと会の皆さんがこの植樹会に参加されることをお待ちしております。

広報はつぽうで見える 八峰町の出来事

広報「はつぽう」のお申し込みは
八峰町役場企画財政課まで
☎0185-76-4603
☎0185-76-2113
年間購読 2000円(毎月1回発行)



1月号(お餅つき 田中地区新春綱引き大会より)



2月号(厄払い 白瀑神社)



4月号(新しい生活 沢目子ども園入園式)



6月号(めざせ! 一等賞 埴川小学校運動会)



8月号(滝つぼで乱舞 白瀑神社例大祭)



9月号(晴れて大人の仲間入り 八峰町成人式)

ふるさと会を迎えて

芹田 哲春(東京都狛江市在住)



今回東日本大震災で被災された方々、また御親族の方々にはお見舞い申し上げます。農地被害とまだ起こり得る地震などの、心配事が絶えない事と思います。

私は60数年前に旧峰浜岩子に生まれましたが、早いもので50年近く東京に根を下ろしています。現在私が住んでいる場所は、町の南部に多摩川が流れていて、とても静かで環境の良いところです。夏には毎年恒例で、多摩川でのいかだレースや花火の打ち上げがあつたりして、自慢のできる町だと思います。

そんな中、我が町も今年は花火の打ち上げが中止になりました。被災地の方々への配慮、また電気の節約や人材の確保の件などが理由でしょう。

私は今回でふるさと会への投稿が2度目となりました。東京での生活は大変な事も多々有りましたが、息子2人の親となりました。前回の投稿から変わったことは、その息子達も家庭を持ち、子供が生まれ、私も3人の孫達に恵まれて幸せな今日に至っています。

現在は少子化の影響で、地方各地の小学校、中学校の生徒が少なくなり、学校の建物そのものが取り壊されています。

そんな中で私が生まれ育った旧岩子小学校がことぶき大学と命名され、地域の方々がお互いの親睦や活動を行う施設と

なつたと伺いました。出身校が形は変われども、存続していることは、とても嬉しい事と思っている限りです。

今後、人と人が気持ちを分かち合える場所として、このことぶき大学をたくさんの人が共有していけることを願っています。

旧岩子小学校



私の故郷八峰町

菅原 葉子(旧姓若森 さいたま市在住)



私の生れ育った中浜は随分と様変わりした。中浜を離れてもう四十二年になろうとしている。

この六月に久しぶりにゆつくりと中浜の景色を見てみた。父のお墓参りは毎年と言っていい程、茂浦に行っていたが、お墓参りをするだけで、ゆつくり、のんびり回りの景色を見ることなく過ごしてきた。

この六月に下の子と孫を連れてお墓参りの後、海辺に行ってみた。まずビックリしたのは雄島が随分近くに感じたこと。こんな近くに雄島があつたのかなと。

いろいろな事情をかかえて今は中浜に自分の実家はない。だが、やはり故郷はと聞かれると、「秋田県山本郡」と答えてしまう。若い頃はあたり前の場所であつた所が、年を重ねて行く度に「素晴らしい場所に、生れ育つたんだ」と、今更ながら感じる。

たとえば、滝ノ間にはハタハタ館があります。二度ほど宿泊しましたが、夕食には実にこだわりを持っている。故郷の具材がふんだんにお目みえする。とくに煮魚は丸々一匹つき、その大きさにビックリである。お部屋も日本海を一望でき、お風呂も気持ちよく満足である。

また東八森には由緒ある白滝神社がある。ここはまさにパワースポットである。



瀧峰山松源院の本堂

私にはマイナスイオンもたつぷり感じた。東八森にはもう一カ所有有名なところがある。松源院というお寺である。ここも父のお墓参りに行く度に必ず足を運ぶ。中に入ると凛とした空気が漂う神聖さに、思わず心が洗われる。可愛いお地藏さんはなんとも言えない愛くるしい顔で私たち迎えてくれる。孫は閻魔大王様がいと怖いと言いつつも、「いい子にします」と手を合わせている。何とも言えない光景である。こういう素敵な場所にも毎年足を運べるのは嬉しい。是非、皆様にも八森の良さを知ってもらいたい。

海があり、山があり、両方に囲まれた八峰町。素晴らしい町八峰町。

元気でいる間は毎年八森に出向きたい。ありがとうございます。

八峰町と同期会と観海荘

伊藤 幸彦(西東京市在住)



7月15日の昼過ぎ、てつみから電話。「ゆきひこ、800字なんか書け」と。「なに書く? 今までの人はどんなの書いてる?」「そんなの読んだら、かえって書けなくなる。なんでもいいから書け」だ。この会話が秋田弁であったことは言うまでもない。

無茶ブリ、だが私から船越鉄美(通称「屋号だな」)ガヤへの無茶ブリはその比ではない。鉄美が下椿、私が椿台で観海小入学前からの付き合ひ。今は春夏秋冬に一回ずつ程度は呑んでいて、私たち八森中24期(昭和46年卒)の幹事長格も務めてくれている。今年も八森の「八森イソラ」(これも同期の島屋政子(旧姓田崎)が夫君とオープン)を会場に、倒れそうなくらい楽しい同期会が8月13日に開かれた。

この盆は、考えた末に同期会当日の午前中に秋田市で墓参りなどを済ませ、ボケた親父と酔っぱらいの弟と私の家内との4人で八峰町に向かうことにした。さあ、どこに泊まるかだ。そんなときも鉄美。すぐにリサーチ、冒頭の翌16日(家内の母校、藤里中同期会になぜか闖入していた)には宿の内諾を得てくれた。すぐさま予約。

『観海荘』は、くだんの政子の店から這って一分という至近と言う。今現在、



クソ原発のいわき市から避難している御家族も利用されているようだが、観海荘の若女将?の話しっぷりが快活で気持ちがいい。あれはジャンゴの出身ではないな。きつと気持ちよく寛げるだろう。

私は高校卒業までの18年間しか八森に暮らしていない。ボケ親父は戦後すぐから発盛精錬所に勤め、7年前に死んだ母は婦人会だのPTAだの、なんかやっていた。弟も八中の3級下。

合併して八峰町になったと聞き、へんな響きだなあと正直に思った。峰浜は嫌いではない。梨は美味しいし、中1で新人戦に出て初めて勝ったのが峰浜中のテニスコートだったのを今でも覚えている。八森が大好きな私だが、今度は『八峰町』として超好きになれるよう、ちよくちよく県境方面を訪ねることにしようつと。

古希の集い

黒浜 茂子(東京都町田市在住)



「朝風薫る母谷山の 平和の里に育ちつつ」。水沢小学校の校歌です。朝礼で毎日歌っていました。昭和24年入学した同級生は古希を迎えました。

8月16日、「白神温泉」で古希の集いが催され、同期生90名でしたが、出席者が25名でした。久しぶりに会い、中には名前が出てこず一瞬戸惑ったり、話し合っているうちに当時の名前で呼び合ひ、思い出話に楽しい時間があつという間に過ぎました。

今回の古希の集いは特別な思いで帰郷しましたが、故郷はいつ帰っても癒されて大好きです。「古希の集い」を終えて実家に戻りホッとしていると、さつきまで同期生の皆で賑わった余韻で、急に小学校の頃のことを浮かんできました。

沼田から学校まで約一時間の道のり。雪の日は林の中を一列になって歩きました。春が待ち遠しかったこと。夏近くになると砂浜はハマナスの花でピンク一面になり、それは見事でした。その花びらを摘んでアルバイトをしました。海では地引き網の漁です。大人の声に合わせて両方からロープを引いて巻き上げます。いろいろな魚が入っていてびっくりしました。

また沼では「ジュンサイ」取りもしま



古希 昭和33年3月卒業 沢目中学校同期会 平成23年8月16日 於 あきた白神温泉ホテル

した。桶と鉢を持って腰まで水に入つてツルを持ち上げ、ゼリーの芽の所を鉢で切ります。近所の友達に教えて頂き楽しかった小学校時代が次から次へと脳裏に浮かんできて、60年前のことが鮮明に思い出された一日でした。



挨拶をする神馬信一会長



加藤和夫町長の挨拶



須藤正人議長の挨拶

旧交を温め大盛況だった 第2回八峰町関東ふるさと会

（東京・千代田区
アルカディア市ヶ谷）

2010年
11月21日



「何年ぶりだべぎゃ」。久し振りの同級生



やっぱりいいなあ。同級生は



空になった“だまこもちの鍋”



「やっぱり、美味しい」だまこもちの味

小物農機レンタル!

(レンタル機につきましては、
1日以上とさせていただきます。)

機種	使用	料金	準備台数	機種	使用	料金	準備台数
高負動噴霧	噴霧用	1日3,000円	2台	溝切機	乗用型	1日5,000円	2台
動力散布機	粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕巾500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ	φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	小型4馬力	1日3,500円	1台
刈払機	高負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機	100V・交流12A	1日3,500円	1台
チェーンソー	中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー	φ35mm	1日3,500円	1台				

ご来店をお待ちしております。

農家のパートナー
小物農機・販売サービス **AV アシザキ NOUKI**
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884



民謡などの芸能もたっぷり堪能



息もピッタリの
カラオケ

三味線と民謡の歌
声に会場も盛り上
がる



「来年もまた合いましょう」(「ふるさと」を合唱)



最後は「ふるさと」の合唱で



出席者へのおみやげ品作りも大変な作業



ハタハタ、きりたん
ぽなど。ふるさと物
産品も盛りだくさん

大人気の
ふるさと物産品

オール電化だからこそ エコの時代だからこそ
「木炭&ひば&珪藻土パワー」健康住宅
イメージチェンジ!

白神の里の家
公開中

ポンポコ山

ご来場の皆様に
八峰「白神の塩」
粗品差しあげます。

帰郷の際にはぜひご来場下さい。

木炭&ひば&珪藻土パワー! 信頼は時の流れを超えた絆です

高田住宅工業株式会社

ISO9001:2008取得 顧客の要求を真摯にこころをこめて製品とし、社会に貢献する

宅地建物取引業/秋田県知事(8)第1047号

本社/能代市昭南町7-1 TEL.54-6518 FAX.55-0750
 不動産部/能代市昭南町7-1 TEL.74-5044 FAX.74-5043
 峰浜本店/山本郡八峰町峰浜高野々字高野々43-1 TEL.76-3493 FAX.76-2186
 秋田支店/秋田市八橋大沼町15-10 TEL.018-896-7773 FAX.018-896-7774
 峰浜展示場/山本郡八峰町峰浜沼田字ホンコ谷地

ホームページ/ <http://www.takajuu.co.jp>

通勤の達人

1都2県の通勤電車

白木 仁さん(八峰町中浜出身)

朝日新聞 2010年10月3日に掲載

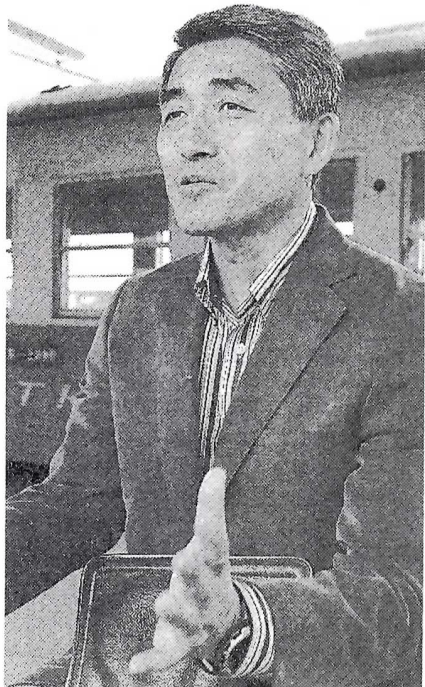
リレーおびにおん

会社遠いが楽しみ近くに

後悔したこともありましたが、何でこんなに遠いところに家を買ったんだらうって。通勤に2時間20分ですから。今は遠い、と考えないようにしています。考えてもいいことない。本を読み、スマートフォンをいじりながら通勤しています。

情報システム会社に勤める私が千葉県の小さな私鉄、小湊鉄道の光風台駅(市原市)にマイホームを構えたのが15年前。パブル崩壊で「今が底値だ」と同僚におおられたことと、郊外に戸建てを、という妻の希望もあって都内の社宅から移りました。横浜や川崎の北部も考えたのですが値段的に合わなかった。だったら千葉で、と軽く考えてました。しかし、近所にあいさつ回りましたら「よほどゴルフがお好きなんですね」と。ゴルフはやらないので、なぜそんなこと聞くのかと思ったら、市原は全国一のゴルフ場銀座だった。「都内への通勤圏じゃないの

通勤ラララ②



＝千葉県市原市、秋山写す

片道2時間20分かけて通勤する会社員

白木 仁さん(56)

か。失敗したかな」と思いました。赤坂、新宿、渋谷など都内6カ所のオフィスを異動し、10月から横浜勤務になりました。1都2県をまたぐ私の通勤経路を紹介しましょう。朝7時21分、光風台駅を出て5分で五井駅に到着、乗り換えJR内

房線は、直通で蘇我駅から京葉線内に入ります。旧江戸川を越えると東京都です。終点東京駅の長い構内通路を通過して東海道線に乗り換え、多摩川を渡って神奈川県へ。間もなく横浜駅に到着。さらにみなとみらい線で2駅、9時31分にみなとみらい

駅に着きます。

これが毎日ですから、朝は少しでも座りたい。途中駅で降りる何人かの顔を覚えて前に立ち、降りたらさっと座るんです。でも考えることはみんな同じで、私が目星をつけた人の周りにはいつも同じ顔ぶれが立っている。座れるのは2カ月に1度かな。私にとつて朝の運試し。座れた日は、何か良いことがありそうな気分になります。

ほぼ毎日残業で、帰りは午後9時8分が「終電」です。飲みに行くことはめったにありません。午後11時半ごろ帰宅して食事、入浴、パソコンをいじっていると、すぐに2時、3時です。起床は6時半。飲まないから健康的ってわけでもないです。最近ではスマートフォンのお陰で車内でネットやメールができるようになりました。睡眠時間が1時間増えました。6カ月の通勤定期は33万4千円。以前は券売機に1万円札を1枚ずつ

入れて買っていました。緊張しました。普段、持ちつけない大金ですから。警戒して何回も背後を振り返ったり。五井から横浜へ東京湾横断道路を通るバスがある。通勤時間を30分短縮できるが、さらに約10万円高い。認めてもらえませんでした。子供たちには、会社や大学にここから通えば家賃1年分節約できるよと言ったのですが、「冗談はやめて」と出て行きました。

後悔するのが、列車で寝過ごした時。1駅前までは緊張しているのに最寄り駅が近づくとなぜかうとうとする。次の駅はタクシーがないし、妻は運転できない。農道を歩いて約40分。この時はかりはきれいな夜空が恨めしくて仕方ありません。

「大変ですね」と同情されることもありますが、もう慣れっこです。逆にのどかな風景を見ると、故郷の秋田県を思い出します。趣味の山歩きのトレーニングやレーシングカーと、近くに楽しみがいっぱいあります。遠距離通勤、やってみませんか。(聞き手・秋山惣一郎)

◇次回は9日に掲載します。

四季の語らい、
くつろぎのひととき。



BANQUET ACCOMMODATION RESTAURANT
宴会・会議 宿泊 レストラン

アルカディア市ヶ谷
私学会館

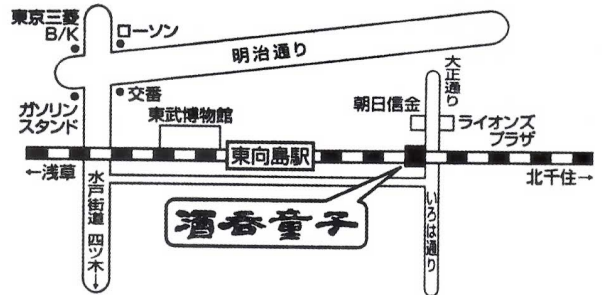
JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760

<http://www.arcadia-jp.org>

秋田料理

各種御宴会の
御予約承ります。

酒香童子
ひゅ てん どう じ



東京都墨田区東向島4-43-10
TEL.03-3619-1676

原宿 ホルモン
サカイ食堂

東京都墨田区東向島2-15-3
TEL.03-3616-8929
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩1分

原宿 ホルモン
サカイ酒場

東京都千代田区東神田1-14-14
TEL.03-3864-5229
<交通>JR総武線「馬喰町駅」④出口より徒歩1分
都営新宿線「馬喰横山駅」A1出口より徒歩2分

地蔵橋
サカイ鳥之助

東京都墨田区東向島2-11-21
TEL.03-3612-4129
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩2分

NPO法人
白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につまましては、下記までご連絡ください。

会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確かなものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■TEL:0185-70-4211 ■FAX:0185-70-4214

■URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。



秋田名物
きりたんぽセット

地方発送
承ります
10月上旬から
2月下旬まで
発送いたします

申し込みご予約は

TEL.0185-76-2529 FAX.0185-76-3156

秋田県山本郡八峰町峰浜田中字大土面 17 レストラン 峰

昔懐かし、ふるさとの味

おやき



セキトの「おやき」は9月上旬から翌年3月下旬までの「季節商品」です。八峰町へお戻りの際は、是非「焼き立て」をお召し上がりください。

味と心で ぐあいさつ
セキト
www.sekito.net

株式会社 セキト
●上町本店 能代市上町 12-2
TEL.0185-54-3131
FAX.0185-54-2433

地方発送のご注文はこちらへ



(マリネ、ハタかま、鮎ずし) 発送承ります!!

秋田・味めぐり一番所はちもり

⊕ (株)鈴木水産

☎ 0120-022170 FAX 0185-77-3601
 URL <http://www.suzuki-suisan.co.jp/>
 E-mail suzuki@suzuki-suisan.co.jp

白神山地の天然湧水仕込だけで
 酒造りを行う全国で唯一の蔵元



白
 神
 伝
 説

八峰町八森字八森269
 TEL/0185-77-2311 FAX/0185-77-2312

黒松林と日本海の風があなたのライバル

能代カントリークラブ

〒018-2507 八峰町峰浜田中字大土面18
 TEL: 0185-76-3311 FAX: 0185-76-3009

これからも地元産の食材にこだわり、
 喜ばれるものを作っていきます!!

米 森 農 園

〒018-2504
 八峰町峰浜石川字石川498
 TEL & FAX: 0185-76-3434
 MAIL: yonemori_011@ybb.ne.jp



そばの花

空気と水がきれいな八峰町の
 良質の環境の中で育てた“自信の味”

せりたきのご農場 せりた まさつぐ
 芹田 正嗣

秋田県山本郡八峰町峰浜目名瀧字岩子 38
 TEL & FAX: 0185-76-3062 携帯電話: 090-3122-2298
 HP: <http://www.serita-kinoko.com> E-mail: info@serita-kinoko.com



大自然の中で育った美味しいいたけを、
 ご贈答用にお詰めします。



八森いさりび温泉 館
 ハタハタ

ホームページ: <http://www.hatahatakan.jp/>

秋田県山本郡八峰町八森字御所の台 51 番地
 TEL: 0185-77-2770(代)

白神の海と大地の夢を育む

白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

TEL:0185-77-3161 FAX:3008
秋田県山本郡八峰町八森字中浜 41-3



あわびの里づくりまつり

平成24年8月上旬開催

☆参加して「My あわび」のオーナーになってみませんか！

「新鮮・旬・野菜と特産の石川そば処」

産地形成促進施設 **「おらほの館」**

旬の野菜がどっさり！ 地方発送もいたします！



..... ご来店おまちしております

〒018-2509

秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字沼田ホンコ谷地 147-6 **道の駅となり**

TEL・FAX 0185-76-4649

mail : orahonoyakata@shirakami.or.jp

－ 支え合おう東北－

えがおのあなたが見たいから...

皆川薬局



どちらの処方せんでもお受けします。

薬剤師 皆川 鉄治・山脇 一輝・山脇 真理

八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 7:00~20:00 / 休業日 日曜日・祝祭日

心通い、笑顔のある、家庭的な環境！
いつでもご見学、ご相談可能

グループホーム

いこい

八峰町峰浜田中字立花 13-1

TEL 70-3151

◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆

モンブラン風 オムレット

新商品

お芋のプリン
かぼちゃフォン始めました

チョコマン、山びこまんじゅう、カステラドーナツ

美味しいお菓子の店

高峰堂

八峰町峰浜塙字豊後長根145 TEL0120-89-2041

営業時間 7:00~20:00 年中無休

地域と共に

エルポート・シロキ

代表取締役 白木 博

八峰町中浜 TEL:0185-77-2323

FAX:0185-77-2324

E-mail : el-white@shirakami.or.jp

秋田料理

居酒屋 秋田おばこ

埼玉県川口市戸塚2-23-28
TEL. 048-294-1856

スナックこまち

埼玉県川口市東川口1-15-18
TEL. 048-298-2877

高沢 すな (八峰町出身)

子どもに夢を！ 誇れる郷土を！
地域に活力を！

第26回雄島花火大会

8月15日打ち上げ(毎年)

雄島花火実行委員会

委員長 諸 沢 秀 紀

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用



究極の美味 グリーン豆腐

従来の豆腐より栄養価が高く
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く、
美味です。

◆◆◆◆ 松岡食品 おかげさまで創業63年を迎えました ◆◆◆◆

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷 43-3

松岡 清悦 ・ 松岡 清也

TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646

E-mail : info@matsuoka-foods.com



さきがけ

経営労務総合研究所

・ J M E C ・ コンサルタント事業部

経営労務コンサルタント (全能連登録)

代表 松尾 長 二 郎

事務所 〒157-0077

(自宅) 東京都世田谷区鎌田 3-33-2-105

TEL/FAX : 03-3417-1860

あふれる緑、大地と共に輝く未来



秋田やまもと農業協同組合



本店 〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後 270
TEL:0185-87-4600(代) FAX:0185-87-4200
代表理事組合長 米森 萬壽美

峰浜支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜字豊後長根 65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959

八森支店 〒018-2674 秋田県山本郡八峰町八森字上家後 74-1 TEL:0185-77-3311(代) FAX:0185-77-2400



0185-77-2555



秋田県山本郡八峰町八森字横間156番地先
秋田県漁業協同組合
北部総括支所

第3回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会

平成23年11月20日(日)開催

受付：11時00分～
総会：12時00分～12時30分
懇親会：12時30分～15時30分
会場：アルカディア市ヶ谷
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-2-25
03-3261-9921(代表)

懇親会費：6,000円
(学生は3,000円、小学生以下は無料)

友人・知人をお誘いの上お気軽にお越しください



- 地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A1-1 出口
- 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1-1 または A4 出口
- JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記各出口から徒歩約2分

駐車場は使用出来ませんので、JR/地下鉄をご利用ください

八峰町関東ふるさと会・役員一覧

会長：神馬 信一
副会長：麻木 固磨、伊東 千ヤ、内山 由子、北郷 洋子、信太 吉右エ門、
田中 章、戸田 眞里、福田 稔、干場 革治
幹事長：成田 勘一
副幹事長：笠原 均、船越 鉄実
幹事：大久保 英子、大久保 澄子、黒浜 茂子、坂田 二郎、佐々木 正人、
佐々木 テル子、白木 仁、芹田 忍、丹波 テツ子、矢野 忠司、
山内 哲夫
監査：菊地 弘美、鈴木 輝志郎
顧問：加賀谷 光丸、富岳 智猛、藤田 秀夫、秋山 芳輝

- 発行：八峰町関東ふるさと会
- 発行責任者：神馬 信一
- 編集委員：成田 勘一、北郷 洋子、丹波 テツ子、芹田 忍

〒184-0001

八峰町関東ふるさと会事務局

東京都小金井市関野町一―三―三五
成田 勘一方
Tel/Fax 〇四二―三三三―〇二七八

編集後記
今年3月の東日本大震災、8月には紀伊半島が台風による被害と自然の恐ろしさを思い知らされました。被災された方々へお見舞いを申し上げると共に、私たちが会員もそれぞれができることを行い一日も早い復興をお祈りしたいと思います。